



2026年  
4月8日  
No.A25-12

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2026年3月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップ・ミーティング

・3月12日(木)、岡部 貴士 コントロール・リスクス・グループ株式会社 代表取締役社長・パートナー「ドローン時代の非対称リスクとカウンタードローン— 国家・重要インフラ・企業が直面する新たな防衛課題」(於：オークラ東京)

#### <要旨>

ドローンの最新の種類・技術やカウンタードローンの利用例、ドローン対策における日本の課題などについて説明があった。



#### (2) 中東情勢オンライン講演会

・3月3日(火) 中東情勢オンライン講演会「イラン情勢の展開と影響」(Zoom形式)

#### <要旨>

2月28日に勃発したイランと米国・イスラエルとの戦争に関し、当会の齋藤正道主任研究員が「イランの視点から見た情勢」について、平

寛多朗研究員が「イスラエルの視点から見た情勢」について、高橋雅英主任研究員が「エネルギーの視点から見た情勢」について、金子真夕主任研究員が「トルコの視点から見た情勢」について、それぞれ講演した。



・3月4日(水) 第33回中東情勢分析発表会 (Zoom形式)

<要旨> 当会の金子真夕主任研究員が「トルコのクルド問題：治安・国境・対欧米関係の見通し」、齋藤正道主任研究員が「2025年末からのイランにおける抗議活動の背景とその行方」と題する講演をそれぞれ行った。

### 2. 中東調査会の活動

#### (1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2026年3月号 (2026年4月8日付)
- 1. ガザ戦争(3月の動き): 深刻化するイスラエル軍の兵員不足
- 2. シリア: アフマド・シヤラ大統領一行のドイツ、イギリス訪問
- 3. トルコ: 英国とユーロファイター関連協定

に署名

4. イラン：ゾルガドル氏が国家安全保障最高評議会の新たな書記に就任
5. エジプト：イラン情勢を受けた通貨安とガス不足
6. リビア：シルト南方のマブルーク油田で2015年以来の生産再開

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

## (2) 中東かわら版の発行

- No.127「中東：イラン情勢の緊迫化を受け、ホルムズ海峡が通航不可」(主任研究員 高橋雅英、3月2日)
- No.128「イラン：ハーメネイー最高指導者が死亡」(主任研究員 斎藤正道、3月2日)
- No.129「ヨルダン：イスラエルを狙ったイランの弾道ミサイルを迎撃か」(研究員 平寛多朗、3月2日)
- No.130「カタール：イランからドローン攻撃を受け、LNG生産が停止」(主任研究員 高橋雅英、3月3日)
- No.131「オマーン：イランによるオマーン攻撃の意味」(研究員 平寛多朗、3月3日)
- No.132「イスラエル：イスラエル軍、レバノン南部の拠点を拡大」(研究員 平寛多朗、3月4日)
- No.133「クウェイト：イランによる攻撃が突きつけた2つの衝撃」(研究員 平寛多朗、3月4日)
- No.134「イラク：イラクのイスラーム抵抗運動が対イラン戦争関係国を脅迫」(特任研究員 高岡豊、3月5日)
- No.135「トルコ：イラン発の弾道弾、NATOの防空・ミサイル防衛部隊が無力化」(主任研究員 金子真夕、3月5日)
- No.136「イラン：モジタババー・ハーメネイー師がイラン・イスラーム共和国の第3代最高指導者に選出」(主任研究員 斎藤正道、3月9日)
- No.137「イスラエル：攻撃支持の一方で伸び悩む議席数」(研究員 平寛多朗、3月10日)
- No.138「イラク：イランの新指導者選出への諸派の反応」(特任研究員 高岡豊、3月10日)
- No.139「バハレーン：淡水化プラントへの攻撃とパキスタンとの関係強化」(研究員 平寛多朗、3月11日)
- No.140「イラン：モジタババー・ハーメネイー新最高指導者が初の声明」(主任研究員 斎藤正道、3月13日)
- No.141「エジプト：イラン情勢で直面するエジプトの危機とパンの価格」(研究員 平寛多朗、3月16日)
- No.142「オマーン：モジタババー最高指導者への祝電とオマーン外交」(研究員 平寛多朗、3月17日)
- No.143「シリア：ダマスカス県がアルコール飲料の販売・提供を広汎に規制」(特任研究員 高岡豊、3月17日)
- No.144「イスラエル：ノウルーズと繰り返されるイラン国民への呼びかけ」(研究員 平寛多朗、3月18日)
- No.145「イラン：ラーリージャーニー国家安全保障最高評議会書記、殺害される」(主任研究員 斎藤正道、3月18日)
- No.146「カタール：イランの攻撃によりLNG生産設備の一部が損傷、修復に最大5年」(主任研究員 高橋雅英、3月23日)
- No.147「クウェイト：ヒズブッラーに関連するテロ集団を逮捕」(研究員 平寛多朗、3月23日)
- No.148「イラン：モジタババー・ハーメネイー最高指導者による年初のメッセージが発表される」(主任研究員 斎藤正道、3月23日)

- ・No.149「パレスチナ：イランのミサイルの破片198個がパレスチナに落下」（研究員 平寛多朗、3月24日）
- ・No.150「イスラエル：イスラエル軍、レバノン向けの部隊をヨルダン川西岸地区へ」（研究員 平寛多朗、3月25日）
- ・No.151「レバノン：イラン大使の追放問題」（特任研究員 高岡豊、3月26日）
- ・No.152「アルジェリア：天然ガスの追加調達を目指し、イタリアのメローニ首相が来訪」（主任研究員 高橋雅英、3月27日）
- ・No.153「ヨルダン：イラクからのヨルダンを標的とした攻撃を非難」（研究員 平寛多朗、3月30日）
- ・No.154「クウェイト：ホルムズ海峡の混乱で食料安全保障に影」（研究員 平寛多朗、3月31日）
- ・No.155「イエメン：アンサール・アッラーによるイスラエル攻撃と今後の展望」（特任研究員 高岡豊、3月31日）

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

### (3) 中東分析レポートの発行

- ・No.6「2026年2月28日の対イラン攻撃をめぐるイスラエルの判断——脅威認識の変化、国内世論、今後の展望」（研究員 平寛多朗、3月2日）
- ・No.7「エジプト：イラン報復拡大の中での立場、制約、今後の動向」（研究員 平寛多朗、3月10日）

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/report/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/))

### (4) その他の活動

- ・3月3日（火）、第12回「中東ユーラシアにおける日本外交の役割」研究会が開催された。
- ・3月17日（火）、カリーム・ハッガーグ SIPRI 所長が当会を来訪し、齋木理事長、斎藤主任研究員、平研究員と意見交換を行った。



## 3. その他

### 要人往来

- ・3月3日、茂木外相は、オマーンのパドル・ビン・ハマド・アル・ブーサイディー外相と電話会談を行った。
- ・3月4日、茂木外相は、カタルのムハンマド・ビン・アブドルラフマン首相兼外相と電話会談を行った。
- ・3月5日、茂木外相は、訪日中の UAE のスルタン・アル・ジャーベル産業・先端技術相兼日本担当特使と会談した。
- ・3月6日、茂木外相は、イスラエルのサアル外相と電話会談を行った。
- ・3月9日、茂木外相は、イランのアラーグチー外相と電話会談を行った。
- ・3月16日、茂木外相は、サウジアラビアのファイサル・ビン・ファルハーン外相と電話会談を行った。
- ・3月16日、茂木外相は、UAE のアブダッラー・ビン・ザーイド外相と電話会談を行った。

・3月17日、茂木外相は、イランのアラーグチー外相と電話会談を行った。

#### **4.4月の予定**

・4月10日（金）、8:30～10:00、トップ・ミーティング（李 赫（リ ヒョク） 駐日本国大韓民国大使館 特命全権大使「新たな60年に向けた韓日関係」、於：オークラ東京 プレスステージ タワー7階 「メイプル」)

・4月28日（火） 中東情勢オンライン講演会（向 賢一郎 駐クウェート大使「クウェートから見た中東湾岸情勢について」)

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

**\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。**

**\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。**